

山行報告書

報告書作成

2007年5月5日

山名 [山域]	馬ノ鞍峰(台高)	目的と方法	自然観察
登山期間	2007年05月04日(金)	山行形態	夜行日帰り
参加人数	2名		

行動記録

05/03(木) 岩津市民センターP(18:00)=== 豊田東IC===亀山IC 19:07 == 針IC 20:02 20:10 ===三茶屋 20:45 == 杉の湯 21:30 (泊)

05/4(金) 杉の湯 (7:00)===登山口(7:40 8:30) - - カクシ平 (10:00 10:25)---尾根 (11:05)---馬ノ鞍峰(12:00 14:00)---カクシ平(15:10 15:20)---三ノ公登山口(16:30 16:55) = = = 針IC===亀山IC===豊田東IC===岩津市民センターP 21:30 亀山IC~四日市IC 渋滞

概念図



↑ 池小屋

↓ 大台ヶ原

日誌

05/3(木) GWの後半 渋滞を心配し前夜発とする。早めに出かけたため 予定の道の駅杉の湯にて車中泊となる。出発が遅ければ手前の 三茶屋がお勧めです。

05/4(金) 快晴のち曇り。余裕で身支度を整え三ノ公登山口へ向かう。既に7台の車が停まっている。高見山から大台ヶ原への縦走路の中間点にあたるため 北へ南へと歩く人たちの車ですが 馬ノ鞍峰まで一組のご夫婦に会っただけで静かなコース。登山口からカクシ平までは沢に沿って徐序に高度を上げて行く。カクシ平で水を補充し重たくなったリュックに追い討ちをかける急登。ゆっくり歩く。尾根にのれば プナとヒメシヤラ。アケボノツツジのお出迎えに おもわず歓声！例年だと アケボノツツジのトンネルができるのに 今年満開の木は少なく、三分咲きの木や蕾みだけの木が多く見頃は来週あたり。1000mあたりは 芽吹き始めの様相。馬ノ鞍峰に着いたところから雲が拡がり始める。ここから 霧ノ平までがコース上注意を要するため 空を見上げ思案。途中出会った方に明日は雨と言われ馬ノ鞍峰から山ノ神へ少し行ったところにテントが張れるので そこまで行き テントをはるかどうか検討。しかし時間的に 下山も可能な為 下山することにする。

感想

今回の計画で早々と下山したことに関して この山域は 雨が多く 下界が曇りでも山は雨という認識がなかった。地形的に台高南部は雨が多く稜線が痩せ 木の根や岩が多く 急登急下降の連続 荷物を背負って雨で濡れた稜線歩きは滑りやすく危険と判断。馬ノ鞍峰から弥次平峰までは要注意！登山口の『遭難捜索費 100万・200万 あなた持ち』と書いた看板が頭をかすめる。駐車場にて北股から千里峰。池小屋経由で南下してきたグループに出会い情報を頂く。高見山から大台ヶ原へ縦走中水がなくここで下山する若者。大台ヶ原から高見山へ縦走中疲れて下山する男性。なかなか手強い山系ですが 魅力的な山でもあります。